

# 守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：菅

会議名： 第3回守山学区まるごと活性化プランCプロジェクト会議

日時：平成28年8月26日(金)午後7時30分から

場所：守山会館 2階 図書室

出席者：伴野学区長、相宮代表、園田副代表、千代、竹村、磯

出席者(行政)：守山会館 田中館長、菅主事

使用資料： 前回会議の議事録、平成28年度守山市地域行政懇話会～守山市地震防災体制について～、平成27年度農業施策に関する建議の回答

## 議題

1. 最近の行政関係等の動きについて
2. 今後の進め方について
3. その他

## 会議要旨

### 内容

#### 1. 最近の行政関係等の動きについて

- ① 今年度の守山学区地域行政懇話会から  
「守山市地震防災体制について」

守山市が想定する地震…琵琶湖西岸断層帯地震(震度6弱想定)発生率0%、  
東南海地震・南海地震(震度5強想定)発生率70～80%、南海60%  
災害時の避難者想定数：9100人、食糧備蓄27300食 等

備蓄倉庫3か所…北部防災拠点備蓄倉庫、南部防災拠点備蓄倉庫、防災センター

JR東側には避難場所がない。※資料の守山市避難所マップ参照

守山市の課題と対応

- ① 自助・共助・公助の連携による防災体制の強化
- ② 水や食糧の備蓄の検証
- ③ 避難場所・避難所の検証
- ④ 要支援者の誘導から避難所での運営までの円滑化

#### 【意見】

- ・人口開発は、起こりうる問題を予想し対策を講じたうえで計画しなければならないのではないのか。
- ・約50年前の都市計画では対応できない。
- ・まちづくりに関して、住民の意見を取りあげるべき。  
(意見しても、それは県道だからと取り合わない現状がある)
- ・Cプロジェクトの中で、耐震化できた建物を避難所にしてほしいという思いを持って進めているので、行政には八社会で積極的に説明を行ってほしい。行政が訴えなければ、企業は動かないと思う。
- ・単独で働きかけても、八社会で動いてほしいといわれる現状がある。

(裏面に続く)

## 決定事項

次回会議について  
平成28年9月23日(金)午後7時30分から

## 次回以降について

最近の行政関係等の動きについて  
JR東側防災マップについて

## 会議要旨

### 内容

#### ②平成27年度農業施策に関する建議の回答

市街化区域農地の多様な活用について、市街化区域に農地を所有している人にも協力してもらえたら、という内容。

#### 【意見】

- ・JR東側の企業に避難場所の提供を切実にお願いしたい。
- ・東側の広い土地には他の団体の建物が建っている。行政が避難所の確保について動いていれば良かったのではないのか。
- ・梅田にも避難所がない。予め場所を確保しておかなければ、テントを建てるスペースもない。
- ・自治会館についても木造で耐震できていないものが多く、避難所にならない。
- ・東側の現状について、議会で質問していただきたい。

#### 3. 今後の進め方について

「防災マップ」について…草津の防災マップを参考にしながら、相宮代表が作成中。  
平成29年度の予算で作成する予定→見積もりを取る。

#### 【意見】

- ・マップの配布方法について、全戸配布だと捨てられてしまう可能性があるので、自治会館に看板を立てる等がインパクトもあり良いのではないかと→掲示方法等を検討していく。
- ・配布について、勝部や伊勢など東側と西側で分かれている自治会について、西側にも配るか。

#### 4. その他

- ・浮気の保育所がいっぱいなので、東側にもっと保育所がほしい。
- ・農地を借りて保育所が建てられたら良い。